

## 13 自由意見

【問38】 男女共同参画に対するご意見やお考えを自由にお書きください。

寄せられた多くの意見の中から、本調査に直接関係のないものや要望、重複意見等を除き、一部を紹介する。

No	20代・男性
1	男女共同参画というと、女性の育児休暇や産休後の職場復帰に目がいきがちだが、男性、女性ともに仕事と家庭の両立ができるような社会づくりが必要である。制度を打ち出す官公庁がまずはモデルとなり、男女ともに働きやすい職場になるべきだと考える。家事や育児を夫婦が一緒に行うことが、暗い日本を活性化することに気付いていないのだろうか。未来を担う子どもたちが過ごしやすい社会を考えると、自然と男女共同参画の社会に近づくはずである。理想を掲げ、実践が伴わない日本にいることが恥ずかしい。
2	とにかく、これまであった慣習のようなものを見直して、男女のイメージをとっぴらうことが大事だと思います。
3	私の両親は共働きで、家事や育児もできる限り分担して行っていた環境で育ったので、男女共同参画に対してあまり問題を抱くことは少なかったが、親元から独立している今は、様々な問題点が見えてくるようになった。
4	私は男性ですが、職場で女性と接するにあたり、感情のコントロールがうまくできない女性の対応にしばしば戸惑っています。それは、身体的な生理的なものからきていると思いますが、女性の感情の起伏や身体的な特長（個人差はもちろんあると思いますが）について、男性も学習する必要があると思います。というのは、男性が、男性と同じような感覚で女性に接すると、急に怒り出したり、感情を表現できなかつたりで、理解不能と決め付けてしまう男性もいるのではないのでしょうか。もちろん女性にも素晴らしい能力を持った方が多くいます。そういう方達のためにも、活躍の場が広がるのではないのでしょうか。昔からの古い考えにとられずに、男性ももっと家事を積極的に行うべきだと私は考えます。
5	男女共同参画という言葉が一般的にあまり広まっていない。そういった講演、イベント等の紹介等の情報提供するサービス（携帯電話の市役所等のサイトに載せる）がもうちょっとほしい。
6	男女共同参画が世界中で広まっている風潮はあるが、だからといって行き過ぎだ。男女共同参画はやるべきではない。男女というものが、自分自身で考えて共同参画を考えるように、意識を改革していかなければ、押し付けられた男女共同参画は頓挫すると思う。
7	確かに現状で女性の社会進出が少ないとはいえると思うが、家庭に入りたいと女性自身が望んでいる場合も少なくないし、現状において進出する方法を探せばできなくはないと思える。育児や介護に関しては、もちろん男性もできることはすべきであると思うが、あくまでもできるものにとどめるべきである。また、どうしても女性不利ばかり取りざたされるが、現状において、逆に男性不利になっている会社や制度も少なからずある。雇用に関しては、とりあえずすべての職で雇用機会を男女ともに増やすべきである。

No	20代・女性
1	女性の不平等に対する考え方が未だに取り払われていない事だけでなく、女性自身が職を生涯していくものとして考えていないことや、夫へ依存する考え方が目立つと思う。男性は女性への理解は高まってきたが、やはり、配偶者よりはたけていたい気持ちや育児にはつきにくい考えが潜在的にあるように思う。家庭での考え方においても、男性は一生の職という考え方を押し付けられないような教育方針も大切だと思う。
2	特に鹿児島など九州は、“九州男児”という考えを持っている傾向が強く、男は外、女は家で家事全般という傾向が強いように思います。働く女性への理解や、“男は仕事、女は家事・育児”という考えをうえこまないよう、幼少期、学童期から地域や学校で教育の一つとして取り入れるべきだと思います。
3	日本の社会において、“男女の平等”って結局何だろうかと考えさせられました。女性の社会進出が促進されることで男女が平等と言えるのか？夫婦別姓についても正直理解できない。夫婦別姓をとることで日本の文化の継承という所で問題があるし、子どもも周囲も配慮しなくてはいけない。女性の社会進出における障害が出てくる、差別だというのが果たしてそうなのでしょう？男女の平等って、家事や育児、介護について男性が積極的に援助してくれる体制、制度を整えたら良いのかな？と。仕事のお茶くみにしても、男性がついでもらうのが当たり前だと思う、そのような価値観を形成する段階で（学童期等）関わる必要があるのでは？この結果をどう反映するのですか？施策に生かすといっても、地域住民にはそれほど理解してないのでは？
4	いくら職場への男女の均等な取り扱いを周知徹底しても、一人一人の考えが変わらなければ何も変わらない。一人一人の考えが変わらないと、会社の雰囲気というのはそう簡単には変わらず、結局「人ごと」「男女平等なんて今のハヤリ」などと考えられてしまうと思う。産休や育休、名前は存在してもとりづらひ、とれないのが現実。これを変えるなら、法律や制度を細かく見直すことが一番だと思う。
5	女性が社会活動を行うには、家庭生活で女性に求められる役割の比が男性よりも大きすぎると思う。日常家事はもちろん、親への配慮（介護や、介護までいかなくとも手伝い、病院等への送迎等）も、女性の役割とされることが多い。社会通念として、女性＝家庭という構図はなかなか変わるものではないと思わざるを得ない。
6	法律や制度は見直されているかもしれませんが、社会通念や慣習、しきたり等は根強く残っています。親では男女平等の教育はできないと思います。（親自身がそういう教育を受けていないので）

No	20代・女性（つづき）
7	男女を完全に平等にすることは難しいと思うが、お互いに働きやすい社会にはなってほしい。法律や制度を変えることも大事だとは思いますが、人々の考え方を変えないとどうしようもないのでは。男女共同参画について知らない人も多いと思うので、もっと多くの人を知ること、少しは意識も変わるかもしれない。実際に、私もセクハラはありましたし、知り合いも痴漢に遭った人や、DVを受けた人もいます。痴漢に遭った人は、警官に「短いスカートをはいているお前が悪い。」と言われたそうです。警官が痴漢の味方するような発言をしている自体、人々の意識の低さを表していると思います。介護については、老人ホームをもっと増やしてほしい。人でも増やしてほしい。先月、祖母が亡くなるまで家族で介護していました。祖母は介護5でしたが、老人ホームはいっぱい入れず、デイサービスを利用。病院は、以前入院した所が人手不足で、ずっとベッドに縛られて入院していた為、退院した時は祖母は歩けなくなっていました。病気で入院するまで自宅で介護していました。母とおばと1日交替で介護していましたが、母の休みはすべて祖母にあてられ、疲れてヒステリーを起こすこともありました。介護は母だけでなく、家族、周りの人の協力がなければとても辛いことを知っています。やせていた祖母ですが、トイレに連れて行くのも大人2人で支えなければ、とても重くて危ないです。力仕事なので男手は絶対必要です。介護が女性の仕事だと思っている方がいるようでしたら、考えは改めてもらいたいです。
8	男性は男、女性は女に生まれてきたのだから、男性らしさ女性らしさは必要だと思います。ただ生命を残す為だけに男と女の役割があるとは思えません。リーダーの素質があれば、女性らしくリーダーをすればいいし、どの場面でも女性らしさと男性らしさをうまく使っていくべきだと思います。女性の能力開発を行う、女性へ資金的援助を行う、e t c . . . 。これは女性優遇になってしまいます。するのであれば、男性女性問わず、するべきです。

No	30代・男性
1	法律や制度、ハード面等は整備が進んでいると思うが、それぞれの意識や内面などについてはまだまだ問題が多い（差別等）と思う。こういう内面の問題は、改善、考え方を考えるのは時間がかかると思うので、時間をかけて、まだ小さい時から教育をしていくことが必要だと思う。
2	男女共同参画＝男の立場に女が取って代わる、ことではないと考える。能力がある人は男・女に関わらず、その能力に応じたポストや仕事を与える、という風潮は出来つつあるように思うが、一方で全ての女性が偉くなることや、仕事で活躍することを望んでいるのかも考慮すべきではなからうか？中には“専業主婦になりたい”と望んでいる人もいるのではないか（こんな事を言う時点でジェンダーに縛られているのかもしれないが）。より問題なのは、「共働きしないと暮らしていけない」社会環境だと思う。個人の「バリバリ働きたい！」「子育てに専念したい！」「玉の輿に乗りたい（逆タマも）」等々の希望が、経済的な厳しさからかなえにくい状況にある現状を、（当アンケートも含め）行政はもっと認識すべき。個人的には、女性にしか出来ない役割もあると思っていて、そのメリットをもっと活かせる社会になればうれしく思う。（とりとめがなくてすみません）
3	まず、女性の意識を改めたほうが良いと思う。女性自身が「男が主、女は従」と思っている人が今が多いような気がする。今はまだ、そのほうが無難、かえって変革を求めようとする、つまはじきにされると思っている人が多いのでは？それを最初から男性に対して「ダメオヤジ」とか「男は気持悪い」とか、最初から受け入れないこともある。（これは身だしなみ等に気を使わない男性の責任もある）その他にも色々あると思うけど、今の20代以下の人たちの意識は、自分達ほど性差に対してアレルギーのようなものがないので、20年～30年後には、今よりずっと平等になっていると思う。ただ、今すぐに出来ることは、お互いの個性を認め合って、少しずつ役割を見直すことだと思う。現在の考え（男女平等に対する）は、多分に欧米の考えをそのまま適用しようとしている面があると思うので、日本の文化に合った政策を考えるべきだと思う。
4	用語の横文字はやめるべき（取り付きにくい）。転勤がある職場では、女性（妻）が仕事を続けることは困難。結局、それなりの収入がなくては理想のとおりにはならない。各家庭の問題もあり、あまり平等を言い過ぎるのも逆の差別（家庭にいる女性への差別）を生む。DV問題をメディアに結び付けてメディアを悪とするのは短絡的。メディアが発達していない時代からある問題を、今問題視し始めたにすぎない。法や制度をいくら見直しても、それを運用する側がついてこれなければ意味がない。今の法や制度を活かされていないのに、これ以上見直しても問題は解決しないと思う。
5	法律、行政で女性を優遇する対応は必要ない。ただ、男女を平等にするような法律は必要である。それと共に女性自身の意識が変わらなければ平等は不可能である。

No	30代・女性
1	ワークライフバランスを保つために、男性を仕事漬けから解放して家庭へ戻すよう、国も自治体も積極的に動いて欲しい。最近「イクメン（育児に参加するメンズ?!）」も増えているそうだが、会社や周囲の理解が少ないと、イクメンが父親のあたりまえの姿になるのはまだまだ先のように思う。以前、TVで見たが、男女共働き世帯の多い石川県か富山県かだったか？夕方5時になると、小学生までの子供がいる世帯の父親は、働いている職場の上司、同僚から、早く帰れと家庭へ戻されると。子供達も、父親との夕食、お風呂と家族団らんの時間も持てて、母親の負担も軽減するとあった。まだまだ環境整備、法や制度の見直し、人々の理解、課題は多いが、より良い社会実現に向け、市政に期待したい。
2	男女共同や平等と、言ったところで政治の場を見ても女性議員等、意志を持った発言をすると、古い男性議員に小ばかにされ、潰されてしまう感じがする。一般社会でも、結局トップや重役ほとんどは男性で、政治と同じ傾向にある。一度、総理大臣も都知事も県知事も市長も女性が試みて、改めて見直してみたら実感できると思います。

No	30代・女性（つづき）
3	男女を平等に…と言っても、身体的、体力など違うものを同じにすることは、なかなか難しいことだと思います。ただ、今出来ることは、男女のそれぞれの特徴を活かし、それを能力として伸ばして活躍の場を与え、男女が協力していけばうまくいくのではないのでしょうか。（あまり具体的なことは分かりませんが…）自分は今妊娠中ですが、将来のしつけは性別にこだわらずに（“男だから” “女だから”）にかかわらず…）したいと考えています。
4	女性はどうしても出産や子育てで、仕事の間から一時的に離れてしまわなくてはならないことがほとんどです。出産や子育て後に職場への復帰、あるいは何か職に就きたいと思っても、保育施設が充実しておらず、預ける所が見つからなければ雇ってもらえませんし、仕事を探す事すらできない状況にあると思います。女性が社会活動へ入る大きな妨げになっています。女性の社会進出のために、行政の積極的な施策を期待します！
5	あまりにも教育の場でジェンダーフリーばかりを強調している為、非常に違和感を覚えます。男女の差を教育することも大切だと思います。男女共同参画も、あまりに露骨なやり方（お金のかけ方）をしていると、何か政治的意図、特定の政党の暗躍など疑ってしまう事もあります。無理やり社会・政治の場に女性を引き込もうとせず、女性の意思、権限を尊重してほしいと思います。仕事を持たない女性に対する女性からの蔑視も目にあまるものがあります。（私は国家資格保有しておりますが現在は家庭に専念中）男性・女性がこの国の未来のために何をすべきかを考え行動していけば、おのずと仕事・家庭に対する答えは出てくるのでは…。やはり未来を創造していくのは子供たちですので、甘やかさず育てていく事が大切だと思います、私は日々過ごしております。
6	昨年育休をとり、今年4月より復職いたしました。休暇をとるにあたり、私の職場は営業所なのですが、最初は「いい」と返事をもらっていたのに、代わりに派遣を雇う事になったのですが、朝礼の皆の前で「1ヶ月50万もの経費が掛かる」等のことを言われたり、他にも嫌な事をたくさん言われたりされました。復職後も…。地方の方に話を聞くとやはり鹿児島は男尊女卑の傾向が強く見られる気がします。今の現状、到底二人目での育休は望めません。せつかくこのような機会をいただきましたので、今後の改善を望みます。
7	このようなアンケートをとっていただいて、本当に活かされるのか疑問？仕事として、このアンケートを配布し、ただデータを取り、上に報告する為なら、非常に残念。このようなことがないように、このデータを活かし、これからの男女共同参画計画がうまくいくようお願いしたいです。期待しています。今日、無作為とはいえ選んでいただいて、日頃、全く考えていないことを勉強できました。ありがとうございます。
8	男性、女性ともに、意識の改革が必要だと思います。責任のある地位になると、仕事と家庭の両立に悩む女性もいて、そこそこのポジションに留まる方もいるので、非常にもったいない事だと思います。男性であれ、女性であれ、才能があれば正当に評価され、才能のある方が思いっきり力を発揮できるような社会を望みます。生産人口が減る中、女性もどんどん社会にでていかざるを得ないと思いますので、男性はこうあるべき、女性はこうあるべきという考えにとらわれず、みんながそれぞれできる範囲でサポートしていかなければならないと思います。
9	教育が大事だと思います。男女のあり方を学ぶことは性教育にもつながっていくと思います。性を、いやらしく、汚い、隠さなければならないような負のイメージで語るのではなくて、尊い、すばらしくて愛情のある、まさに生そのものであることを伝える教育が浸透していくといいなあと思います。
10	男女の能力による違いを認めつつ、尊重する社会をつくるのが大切。家庭の仕事をした人はいやすい環境を、仕事を続けていきたい女性は続けることのできる社会や職場環境づくり・制度が重要。これまで学校・地域・職場で男性が要となる慣習はあるが、それを全て否定するつもりはない。むしろ、男女同権ばかり訴え、昔からの素晴らしい日本文化を否定する現状に疑問を感じることもある。
11	育休、介護休給付制度や出産手当金の金額上昇等、国の制度としては充実しているが、反面、企業側には難しい（というより、景氣的に余裕がない）部分もあると思う。不景気の為、長く育休をとったり時短勤務により仕事が制限される人よりも、フルで働き利益を得てくれる人をどうしても優先せざるを得ない傾向もある。問題は企画する側（国）と実施する側（企業）の現状のギャップである。企業はしないのではなく、する余裕がないのが現状かも。また、男性は相変わらず休みがとりづらい傾向がある。
12	「家事・育児」は女性の仕事と思っている日本人男性が多すぎる。そういう男性の意識改革がまず必要だと思います。

No	40代・男性
1	男女間に向き不向きな職業、役割があり、お互いに尊重しながら職業を選択すべきである。女性が優遇されている点も多々あるので、女性も権利だけを求めるのではなく、男性に対しても思いやりをかけることが必要。男女間の区別と差別の違いを理解していない人が多いので、その点の教育を進める必要がある。
2	そもそも男性と女性は生まれながらに特長がある。良い悪いでなく、性的特徴を重んじる方が自然である。大事な事は思いやりであり、性差について制度よりも道徳が大事と考える！！
3	急激な男女共同参画社会の形成、男女雇用機会均等の形成、改革は無理があり、これまで約2000年間培われたものを、そう短期間で実施するのには無理がある。徐々に理解を得ながら社会の状況、反応を見ながら実施すべきである。
4	メディアを使った「男女共同参画」に対する周知と参画が可能になる環境の整備を改善する必要があると思います。

No	40代・男性（つづき）
5	社会通念が変革しなければ、お題目だけ唱えても何も変わらない。強制的に全国民が男女の人権や性差別について正しく学ぶ必要がある。介護を受ける人が当然のように娘や嫁をあてにしていたり、社会的に女性の地位が低い現状では、法的に見直しを行っても現状が変わらない。これまで男女については親からの教育が大きく影響を受けていることから、家庭の中で教育を行う親がまず正しい男女共同参画の社会を理解することが必要。男女の特性を活かした平等論でなければ意味を履き違えた女性活動家も多く、反感を持っている者も多いように思う。
No	40代・女性
1	年配の方に、男性のために女性が従うのが当たり前との考えがあり、結婚した時よくそのことで責められた。夫は聞きたくないことは聞かず、動かず、言わずで助けがなかったため、一人で全部やること、耐えることが多かった。子供が成人したら、別れて1人で生活できるように今働いている！そういう人は多くいると思う。特に鹿児島は、年配の人が厳しく、若い人達は大変だと思う。
2	女性は妊娠、出産という性での役割があり、すべて男女平等にあるべきだとは思っていません。ただ、能力のある女性の方は積極的に社会に進出してほしいです。
3	女性が社会の中で働く為には、結婚しているならば配偶者の大きな深い理解と協力が必要だと思いません。結婚当初はなかなか協力的でなかった主人も20年もするととても協力的で子育てにも積極的に関わり、地域や学校の部活等も一緒に過ごしてきてとてもよかったと思っています。その20年間の中で、よく他の人より“〇〇さんのご主人は時間があるからね～。うちは忙しいから～。”と言われました。確かにそうなのかもしれませんが。就労の時間の関係は大きく、家庭生活や社会のあり方に影響しているように思います。今年は仕事をしていますが、仕事をしている時に年配の方々の意識の差にびっくりする事が多くあります。女性に対する軽蔑的な発言や見方、特に会議などでの発言や意見の言いにくさを感じる事が多いです。前にも書きましたが、相手が女性であると、強く言う男性を見かけることが多いです。働く女性の中には、子育てもしながら一生懸命働く方と、まあまあ適当に仕事という方々もいます（これは男女同じ）。一生懸命働く方々の能力が発揮され、活かされる環境は必要だと思います。
4	私の会社の社長が理念の中の一つとして「より多くの人々に美しく輝き、希望を持って（人生の目標設定）自分らしく生きるよろこびを提供することで社会に貢献する」という使命をにかけて実行されている社長です。行政や法律も大事なんですけど、感じますことは、女性がきれいになる→嬉しい→笑顔→家庭が明るくなる→楽しいコミュニケーション→夫婦円満→子供がすくすく育つ、と教えていただきました。女性が変わると家庭が→社会が→世界が変わると言われています。そんなことに挑戦させていただく実践の場があることに日々感謝している女性の1人です。
5	子供は泣くと、父母が目の前にいたとして、母親のもとへ飛び込む。動物だって自立できるまで自ら育てをする。「保育所を増やせ、増やせ、女性を外で働かせろ！」は、何か違和感を感じます。男性が結婚をし、妻と子供を養えないような時代はどうなのか……。両方が働き、自らがつくった子供は外部の人間に育ててもらおう。短時間限りの幼稚園より保育所が求められ……。育ての分業化のような気がします。苦勞して、母の手で、せめて小学生に上がるまでは面倒をみましょう！という教育もあって良いと思います。古くないと思います。フランスの施策にあったように、女が育児で家庭に入った（帰った）時は、失業、無職の若者をあてがい、職業訓練させたら良いと思います。
6	女性には出産や育児など、女性にしかできない特有の機会があるが、それが仕事をする上でマイナスに働くことがあってはならないと思う。女性がそれらのことで休んでいる期間、男性が仕事上の経験をより多く積めるということにより、昇給や出世に差を設けてはいけない。子どもを産み、育てていくことにより、未来はあるのだと思う。社会的な役割分担に縛られてはいけないが、性差はあるのでお互いを認めて助け合う社会になってほしい。
7	家庭、仕事、地域活動、PTA活動と、一個人にとっても負担が多い。活動のために、子育てや家庭生活が雑になり、仕事を休み、職場スタッフへ迷惑をかけることになる。共同参画活動は、平日昼間に行っているようですが、仕事を持つ人には参加は難しいです。又、土日祝日にあると、子供を残して参加せざるを得ません。一家団欒の時間が必要だと思います。
8	鹿児島では、まだまだ職場での差別が違和感なく行われていると思います（50代男性上司が）。例えば、社外への自社のスタッフの紹介などは、男性のみ名前など紹介し、女性は事務担当ということで、ひとまとめられてたりとかしていました。若い方は、男女共同という意識は高いようですが、上司などの年齢の男性の意識は低いと感じます。
9	男性だけが優遇されていることもあれば、女性だけが優遇されていることもあるような気がします。例えば、母子家庭と父子家庭では、助成のハードルが違ったりと、父子家庭だと大変という話もよく耳にします。これから未婚や非婚も増えていくと思うので、本当の意味での「平等」、メリットもデメリットも「平等」にして、その上で不便なところは考えていくべきではないでしょうか。
10	政治、行政の場で、「女性を1人は入れなきゃ」というような、パフォーマンス的な登用でなく、力のある女性に名実共に要職に就いてもらい、活躍してほしい。地域はまだまだ閉鎖的。男女の役割も固定化されているが、地域のつながりの強さと思うと、世代が変わるのを待つしかないように思える。
11	まだまだ教育、研修の機会が足りないと思う。男性、女性ともに理解不足だと思う。教育現場でも男性主導だと考えられるので、男女共同参画社会が形成されるのは時間がかかると考える。

No	50代・男性
1	男女の性差や役割について、議論していく必要があると思います。子供を産んで、すべて（多くを）家族以外の人たちに任せるのは良くないと思いますので。ゆとりをもって、家族全体で子育てしていく環境が必要ではないでしょうか。社会全体が、子どもを産み育てる環境について、議論していく事が大切だと思います。日本の文化（良いところ、悪いところ）も再考してみる事は重要だと思います。私の個人的な意見ですが、若い頃は、やはり母親の育児（周りの協力は必要ですが）が主になったほうが、子供にとってはいいような気がします。その後の就業保障がしっかり実施されることが重要だと考えています。子どもを産むことのできる女性を大切にすることが必要だと思います。もちろん、産めない方もおられますので、また、欲しくない方もおられますので、そうした方々の「思い」も尊重する必要があります。以上です。
2	自分と妻の職場とも男女の差別を感じにくいところにいるので、感覚としては今の社会に男女の差をあまり感じていないのですが、現実的にはまだまだひどい差別があるのでしょうか。お互いを尊重し、補いながら、そして、それぞれの性の役割を活かしながら過ごす社会や家庭が理想的だと思います。その意味では、ジェンダーなどは偏った考えになると思います。能力のある女性はどんどんリーダーとして社会やグループをリードしていくべきだと思うし、家庭においても男女が積極的に家事に参加していくべきだと思います。やはり、根本はお互いを思いやる個人を育てていく社会の形成が、男女共同参画社会を醸成していくカギだと思います。
3	男女共同参画については、今後の日本社会を形成する上において当然に必要なことだと思います。今の施策等を継続することが必要だと思います。昔から鹿児島に伝えられている、男らしさ、女らしさは当然に必要で、お互いを尊重する思いやりを持つ教育が必要だと思います。
4	行き過ぎた男女共同参画社会は、国、地域、家庭を破滅させる。問25で「女性の・・・先進国の中で特に低く・・・」とあるが、外国と日本の国体は違う。合わず必要はない。

No	50代・女性
1	男女共同参画計画という言葉を知りませんでした。このようなアンケートの前に、市民に知らせる手段はなかったのでしょうか。
2	組織、会社などへの指導が必要では。又、女性自身の意識が低いのも問題。働く以上、男性、女性に関係ない。
3	高齢者が多くなり、介護の問題も社会問題になっています。女性もより、社会に参加できるよう、介護の負担を社会の問題として考えていただけたらと思います。現在、介護中ですが、時間的にも精神的にも負担が大きいです。
4	男女平等でありたいと思いつつも、現実には、家事は男には無理ということもあって、あきらめ気分です。しかし、やはり、協力は必要だと思います。もし、私が先に死んだら、食事は大変だと思います。子供の世話になるには早すぎるし、できるだけ自分のことは自分でするようにしてほしいと思います。又、女にしかできない出産も、育児等、協力してほしいです。そうでないし、益々少子化が進んで、先々大変な世の中になりそうで心配です。メディアももう少し、昔のような、子供たちにもためになる報道をお願いしたいです。良い事も悪い事も全部、メディアから吸収しています。
5	少し意図がぶれるかもしれませんが、忘れられない出来事がありましたので書かせてください。正社員として働いていた時です。ある電話を受けたら、いきなり「誰か男の人に代わって！」と言われた。用件を聞いても、部署を聞いても、誰でもいいからとにかく男の人に代われ！の一点張りでした。相手は年配の男性と思われましたが、非常に不愉快でした。鹿児島弁だったこともあり、典型的な鹿児島の男性と思いました。こんな形に近い言動は度々ありました。思い出たびに今でも腹が立ちます。こういう人が職場の中に、社会の中にまだ沢山いれば、「男女共同参画」はなかなか難しいと思われそうです。
6	何もかも男女平等という考えにはいささか反対です。生理的にも体力的にも男性、女性、向き不向きがあり、持久力の点でも女性に対し、男性と同じ“力”を求めるのは無理があると思います。愛情面でも母性、父性はある程度分けるべきと考えています。
7	確かに育児、家事、高齢者の介護は女性の仕事のような感じはしますが、その仕事の役割を家庭で夫、妻、子供とできる範囲であれば、男、女と決めなくてもいいと思う。家に中学生の男の子がいますが、洗濯物の取り入れ、お風呂掃除、ご飯炊き、犬のお風呂入れなどさせていますが、ありがたう助かるわと言っているだけです。ごめんねという母の仕事をお願いしている形になるので、出来ることはだれでもという感じがいいそうです。家事ができると将来にも役に立つし、男、女、関係なく、自分にも“得”です。子供の時からそういうやり方でいくと、別に男、女、間がなくなるし、でもやはり、生活を担うのは父親の方が理想としては大事な部分、母はサポートで仕事ぐらいが子供もそれぞれ尊敬すると思います。母が仕事の主流だと、父への尊敬がなくなると思います。
8	女性が男性と同じように、仕事をフルタイムでしたいと思っても、子供がいると、病気、PTAなどへの参加で会社を休むなどのことを指摘され、採用が不利になる。学校もPTA参観日を夜、日曜日にするとか、社会、制度、法律など・・・、同じ目線での改革が必要。働く女性も、パートだからと責任を軽く考える人もいるが、パート、社員フルに関係なく、責任のある仕事をする事が、女性の地位向上につながると思うが、自覚が女性にも足りないと思う。多くの働く女性の生き方が・・・将来の女性の地位向上に必ず、ゆっくりだがつながっていくと信じています。
9	男女共同参画社会の形成が未だになされていないと感じるのは、妻が働き出ると、家事の負担は変わらず、全てをこなさねばならず、又、夫の中には家事がおろそかにならなければ働いてもいいということをする人がいます。そうなれば、女性はおのずと働く時間や責任のない仕事を選ばざるを得ない現状です。特に子育てが一段落して、いざ働こうと思っても、若い人を求める会社ばかりでやりがいのある仕事はない状態です。日本の社会通念を考えると、男は仕事、女は家事という意識改革をしていかないと、たくさんいる能力のある女性は社会に出て行けない

No	50代・女性（つづき）
10	ジェンダーフリー教育を徹底していくことが大切だと思っています。教育現場で男、女差の意識が刷り込まれています。また、メディアのあり方にも疑問です。性別で役割を固定するイメージをもたせるCMやドラマが多すぎます。
11	私3歳まで子育ては家庭でという考えでしたが、しかし、自分の子供（娘）たちには外で男性と同等に仕事についても同じように能力、責任を持って働いていけるように育ててきました。このアンケートに自分自身で矛盾を感じながら回答してきましたが、子供が少なくなり、女性も社会で働いていけないといけなれば、行政、会社で専業主婦並みの子育て（PTA、社会活動の参加）ができるようなサービス、環境をつくってほしいです。例えば、保育所も幼稚園と同じ教育内容にして、時間も延長するとか、もっと会社で夫が自由に育児休暇がとれるような社会になってほしいです。
12	女性が社会に進出するのみに素晴らしい事ではないと思います。家庭をちゃんと守っている（主婦）に対しての評価が低すぎるのではないのでしょうか。男女共に（別に性別にこだわらず）お互いを尊重する教育が基本的にされていれば、このような「男女共同参画」などという政策は不必要と思います。男女に差別を抱く人は、高齢者、障害者の人々にも差別を何かしか持っているのではないかと思います。「人」としてお互いを認め合う教育をするべきではないのでしょうか。

No	60代・男性
1	私個人的考えについて述べさせていただきます。私の育った頃は、終戦後で一般的に貧乏で、どの家庭も余裕はなかったと思います。しかしながら、帰宅すると母はいつもいたし、母は育てるのに一生懸命でした。だから良いこと、悪いことを教えてくれました。お金もないので遊びは外で遊ぶし、昆虫とり、魚とり（フナ釣り、どじょう釣り）等で遊んだものでした。自然相手でお金は一切いらぬ。現在は、あまりにもお金の時代になりすぎて、振込詐欺等、人はどうでもいい、自分さえ良ければという時代です。お金だけの時代だから、女性も結婚、子育てはどうでもいい。働いて稼がなきゃ。だから少子化も進むし、子供のいる家庭は子供手当が出るのでそこそこ働いて養育する。本来人間は、先祖の人達がしてきたように、男性は働き、妻子を養い、女性は家庭を守るのが一番いい。あまりにも人権を言いすぎ、政治行政は振り回され我の時代です。女性は働くことは賛成ですが、以上のことを考えた上でのことじゃないのでしょうか。
2	どういことをするのか把握してない人が多いのではないか！一部の主旨が分かっている人だけで参画しても意味がない。全員が理解して、できるだけ全員が参画できるよう、いろんな手法で各自が理解できるように広報が必要ではないかと思ひます。
3	共同参画は、特定の部、課、機関、団体等がするのではなく、全ての部署で横の連携を發揮し、強化してこそ成り立つと思われる。
4	日本国は男女平等ですよ！日本国民も、色々な職場で指導的立場で頑張っている方々も多数いらっしゃいます。社会は、女性の参入を歓迎されていると思ひます。男女共同参画社会基本法等法令も整備されているし、あとは各個人が夢（参画したい職）に向かって努力すれば良い。努力の大小によって、夢も実現に近づくとと思ひます。人に与えられた夢は開きません。

No	60代・女性
1	男女を問わず、興味のある方、能力がある方が積極的に参加されたほうが、より良い社会が成り立っていくと思ひます。
2	互いが性の区別（男・女の特徴、特性）を認識し合い、尊重し合うこと。男女の関係が従属的なものでなく、パートナーであること。まず、女性自らの意識改革が必要であり、積極的に一人の人間として経済的自立を努力すること。これらを実現する社会にしていくためには、子どもの教育、しつけ等をまず夫婦で話し合い、一人の人間として育てること。それを支援する制度として、「男女の区別」を教える教育、さらに「専業主婦」が常識の時代にできた税制の見直し等へと進めていく。専業主婦を否定するつもりはないが、安易な生き方として、それを求める女性の意識が変わらないと、社会はそう簡単に変えられないと思ひます。個人、家庭、地域、行政が繋がって努力するしかないと思ひます。
3	身体的に違いがあるので一言で男女平等で同じ仕事をこなせるとは思ひていません。男は外で、女は家族、家を守るのが基本だと思ひ一人です。子どもが寂しい思いをしたり、性格が、人格が大きくなってから何らかの形で曲がった思いやりのない、人情味のない大人になる子が増えそうな気がします。特に、小学校低学年のうち、母親の役割は大切だと思ひ、自分もそうして子育てをしました。孫にもそんな目に遭わないように、娘達にも実行させています。
4	私自身は結婚生活と同時に専業主婦、子供2人を育てながら、子どもを取り巻く周りに人々、友人も共に自分自身も成長し今に至ると思ひています。アンケートの回答は、今の社会のこれからの又孫の世代・・・と考えながら協力させていただきました。息子夫婦を見ていて「男女共同参画社会」は家庭生活、子育て等、コミュニケーションも男女共同の世代を強く感じ、社会に根付いていっていると思ひます。「夫婦別姓」の問題は、子供達への姓名を考えて回答できませんでした。迷いながら“3”にしましたが。
5	男女共同、今までの習慣に問われず夫婦生活の中でともなれば特に難しいですね。お互いに一緒にかかりながら能力、個性を發揮していく前向きな考え方もありませんが、昔から女性は「女らしく」と言うように、切り替えが難しいと思ひます。子供の時から家庭生活、学校生活の教育の中で男女平等の教育の充実が図れたら、もっとうまくいくのではないかと思ひます。

No	60代・女性（つづき）
6	私どもの時代は、男性は外で仕事、女性は家で家庭を守るという社会通念や慣習があったと思います。しかし、現存では、女性の進出も多くなりました。夫婦で働く人が多くみられ、そうすると、子供の問題、保育児施設等の問題も出てきて、男女共同参画も難しくなりそうな気がします。又、女性が男女の均等な機会を得るには女性自身の自覚と知識、能力の向上と周りの支援や施設サービスの充実も必要となるのではないのでしょうか。どうしても、男性にはない女性は、独身でない限り、子供を産み、育てるという仕事があります。時には男性が主夫となり、女性に代わり子育てする方がいますが、まだまだ女性の役割となっているような気が致します。男女が対等なパートナーとしてやっていくには、女性が働きやすい労働条件や環境が整う事だと思います。
7	“用語解説”の中にあるように、人間は生まれつきの生物的性別があります。それで得意とする分野が違うので、それぞれが得意とする分野で力を発揮し、認め合い、助け合っていくべきだと思います。社会でバリバリ仕事をすることも立派ですが、家事をしっかりこなし、子育てする女性もとても立派です。

No	70歳以上・男性
1	政治的にバランスのとれた考え方を基本にする。一方的に偏った方向へ導くような表現を行わない。要は住み良い社会（国家）をつくれれば・・・。
2	政策や方針決定の場に積極的に登用すれば、女性のリーダーも育つ。
3	鹿児島は男女差別の空気が未だに感じられる土地柄である。したがって、女性の社会進出に関しては、女性自らがやや消極的になっている面があるのかもしれないが、能力のある鹿児島おごじよの積極的社会進出を切に望むものである。と同時に職場においても、意欲のある女性についてはリーダーとしての登用を積極的に実施して欲しい。
4	男女共同参画社会基本法が制定されてから10年余り、今回のこのアンケートによりいろいろな設問からこの法律の趣旨を改めて理解させてもらいました。継ぎはぎだった知識が1本につながったように思います。今後、自分なりに勉強して社会に貢献できるように努めていきたいと思っています。設問34について、セクシャルハラスメントの被害者が警察へ相談しているケースは、マスコミの報道によればかなり多いようですが、警察の対応は誠にお粗末です。民事不介入を楯に、消極的な対応に終始している。相手に勧告した、見回り（巡視）をしたくらいのことしかしていない。その結果、事故（刑事事件）になってからでは遅いと思います。
5	以前からすると随分改善されているが、鹿児島は封建制の強いところか、「男尊女卑」の風習があり、女性の発言、就職先での積極的な活動等、職場の雰囲気は足りないと思う。女性が能力を発揮し、大いに敏腕を振り得るような環境づくりがあればと思う。

No	70歳以上・女性
1	鹿児島は男尊女卑の考え方が未だに根強いと思います。「女のくせにギを言うな、でしゃばるな。」こんな思いを心の底にお持ちの男性は多いのでは。お互いの性を尊重し、思いやりの気持ちを持って住みよい鹿児島になってほしいです。
2	男性と女性は同等であるべきですが、各々の特性は異なるのでお互い理解し合える平等であって、各々の特性を幼い頃より知って、尊敬し合える家庭や社会の環境と、学校教育が必要だと思う。又、増えつつあるあまりにも早い性教育や平等を主張するジェンダーフリーのような学校教育は、聖なる学校には持ち込まないでほしい。男性と女性の正しい愛情ある家庭の中で、男女共同参画は理解と協力から生まれてくると思います。純潔教育と共に男女共に色々な学習、社会参加を通して能力を高め、心身ともに成長する豊かな人づくり、教養を高め合える場も場も必要ではないのでしょうか。高齢者も含めて・・・ちょっと考える場を与えてくださってありがとうございました。突然で戸惑ってしまいました。才能ある女性、職場の中でも政治でも、男性ばかりの偏った考え方を改める為にも、女性参画で家庭や社会の理解を高めて男女平等は正しく発展して欲しいと思います。
3	女性型に従属せず個として生きてゆくためには、生まれた頃からの育て方にも問題がありそうです。男のくせに、女のくせに、男らしく、女らしく等、禁句ではないのでしょうか。お互いを思いやりながら人間らしく生きてゆくように育てたいと思います。
4	家事、子育てがどうしても女性のほうに比重がかかってしまうので、負担が大きくよっぽどの体力、強い意志、サポートがないと、仕事を続けるのは難しい。でも、もっと男性の意識を改革して、女性の立場を理解して協力してもらわないと、スムーズな男女共同参画社会の確立は難しいと思う。
5	女性、男性ともその人その人に個性がありますから、それを伸ばすためにも共同参画の意識はみんなが持たなければいけないと思います。意外な場面でよさを発揮できると思います。まだ男性の一部には、女性差別を生まれながらに持っている人々がいます。それは教育の場や家庭で改めていく必要があるかと思っています。一方で共同参画を振りかざしている場も見られることは残念です。資質も持ち合わせていないのに、女性の数合わせに参加させていることも見られます。特に今の政治のあり方に強く思います。大臣選にそう思っております。

No	年齢・性別不詳
1	男女共同参画のためには、仕事をする女性の身体的なハンディキャップを完全に埋めることが必要だと思います。ハンディキャップとは、子供を産めるのは女性だけだということです。出産、育児だけでなく、妊娠中も女性は大変きつい思いをしているのに、妊娠休暇、若しくはつわり休暇のようなものがないために、女性は仕事を辞めざるを得ません。仮にそれに耐えて仕事を続けたとしても、2人目、3人目ともなると、近くに親がいない限り仕事を続けるのは無理です。しかも今の出産育児休業制度は事務的な仕事をする人には向いてますが、それ以外の人には全く無意味なものです。結果、女性は社会進出ができないになってしまうのだと思います。働く女性が安心して妊娠できる法整備を早急にすべきだと思います。
2	今回このアンケートに答えることで男女共同参画という言葉の意味を初めて知りました。一人ひとりが自分はどう生きたいかを真剣に考え、今までの慣習や男女の別にとらわれず、理想に向かって活動していくことによって社会全体も変化していくと思います。そのためには市民へ広く「身近な人への理解・協力・尊重することの大切さ」を伝える必要があると思いました。自分は女性だからこうしなければならない、という考えが自分だけでなく他の人を傷つけたり苦しめたりするようなことになっていないか省みる良い機会になりました。ありがとうございました
3	調査項目を読んで、色々勉強、考えさせられました。男女平等といっても、それぞれにもって生まれた分野があります。そのことをしっかりとわきまえた上での主義主張であってほしいと思います。例えば、質問の中にありました、子供のしつけや教育についても、母親の影響がとても大きいといわれます。高学歴でなくても「かしこいお母さん」であってほしいと応援したくなります。女性は、自分を常に厳しく見つめ、磨きをかけて、そして制度に支えられながら輝いていてほしいと思います。私は公務員で退職組ですが、在職中の同僚（女性）それぞれの考え方、姿勢を見て考えさせられることが多々ありました。「まず、自分に厳しく、努力、その後、制度、権利です。」それが、男女共同参画へつながることを期待します。